

科目名		授業形態	担当教員名	
日常生活活動		講義	小田 佳子・中田 修	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
患者の日常生活活動（Activities of daily living ; ADL）の維持改善は、作業療法士が取り組むべき重要な課題である。この授業ではADLの基礎的知識、疾患別のADLの特徴やその治療的介入方法について学ぶ。さらに実際に脊髄損傷の患者さんに来校していただいて、グループに分かれて実践的な検査測定を行い、その結果を通して脊髄損傷者のADLの状況と機能障害を関連付けることを経験する。				
授業の到達目標				
1. ADLの定義と具体的項目を説明できる 2. さまざまな疾患におけるADLの特徴を説明できる 3. ADLの障害を複数の機能障害と関連づけながら説明し記述することができる				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション ADL, IADLの定義と範囲			
2	片麻痺のADLについて グループワーク			
3	片麻痺のADLについて① 発表			
4	片麻痺のADLについて② 発表			
5	疾患別ADLについて グループワーク			
6	疾患別ADLについて①			
7	疾患別ADLについて②			
8	動作分析の仕方 実技①			
9	動作分析の仕方 実技②			
10	脊髄損傷者の動作分析と評価準備			
11	脊髄損傷者の動作観察と評価①			
12	脊髄損傷者の動作観察と評価②			
13	脊髄損傷者の動作観察と評価③			
14	脊髄損傷者の動作観察と評価 発表			
15	授業のまとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	上記の授業の到達目標の達成程度で評価する		
レポート	10%	脊髄損傷の評価レポートの内容で評価する		
小テスト				
平常点				
その他	10%	疾患別ADLに関するグループ発表の内容で評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
新版 日常生活活動	中村春基		医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準作業療法学 身体機能作業療法学 第3版	編集 山口昇		医学書院	
自由記載				
備考				